

事業名	ながさき女性活躍アクティブプラン
事業の趣旨・目的	<p>企業における女性活躍・家庭と社会生活の両立 イクボスの養成や管理職登用のための女性の人材育成支援等により、企業における女性の活躍を推進するとともに、家庭と社会生活の両立を促進する。</p> <p>あらゆる分野における男女共同参画・女性活躍 多様な分野で活躍する女性団体やロールモデルとの交流、女性活躍の「見える化」により、女性活躍の気運の醸成と男性の理解を促進し、就業や地域活動など、あらゆる分野での活躍を推進する。</p>
事業内容	<p>ミドルマネジメント講座・受講者ネットワーク構築 県内企業の女性管理職の登用促進を図るため、管理職として必要となる基本的な考え方や部下の育成方法などを学ぶ人材研修を行い、女性社員の意識の向上とスキルアップを支援した。 なお、平成30年度まで1地域(回)あたり5日間の日程で実施していたが、企業のニーズを踏まえ、H31年度は2日間の講座を新たに新設した。 また、講座受講者や講師のロールモデル等のネットワークを構築し、同じような立場の悩みを共有する場、相互研鑽の場、研修結果発表(情報交換)の場として、受講者の交流会を開催した。</p> <p>イクボス推進事業 仕事と家庭の調和を図るとともに、女性の継続就業や管理職登用などにむけて、業務の改善やダイバーシティ運営、部下への理解・配慮などを実践する「イクボス」の普及を推進するため、管理職層を対象とした人材育成事業を実施した。</p> <p>家庭と社会生活の両立促進事業 男女がともに家庭と社会生活を両立できる環境を整えるため、職場の理解や家事・育児等の家庭内役割分担を促進するため、家庭と社会生活の両立に向けた男性の働き方の見直しと、家庭と職場での活躍促進、モデル世帯の人生設計を活用し、女性のキャリア形成や家庭と社会生活の両立に向けた家庭内役割分担を促進するための気運の醸成・啓発事業を実施した。 多様な分野で活躍する女性団体やロールモデルとの交流、女性活躍の「見える化」により、女性活躍の気運の醸成と男性の理解を促進し、就業や地域活動など、あらゆる分野での活躍に繋がった。</p>
事業効果及び効果検証の概要	<p>女性の管理職登用を促進するためには、経営者の意識改革とともに、女性社員の意識改革も必要であるが、ミドルマネジメント講座の受講者アンケートにおいて、9割以上が「受講したことで管理職になることに前向きになった」と回答しており、登用促進に向けた女性社員の意識改革を一定図ることができた。</p> <p>女性活躍促進のためには、経営者や管理職層の意識改革が必要であるが、イクボス養成講座の受講者アンケートにおいて、9割以上が「イクボス」は重要である」と回答しており、管理職層の意識改革を一定図ることができた。</p> <p>イクボスの普及啓発を目的に制作した動画及び自己診断ツールを、マスコミ等を通じて広報啓発したほか、市町や企業(経営者や管理職等を含む)が実施する各種セミナーにて取り入れ、受講者の意識醸成を図った。セミナー受講者アンケート結果によると、「意識変化があった」と回答した人は8割以上、そのうちほぼすべての人が「イクボスの行動をとろう思う」と回答しており、イクボスの普及に向けた意識醸成を図ることができた。</p> <p>フェスタの企画・運営に57人の女性人材の参画が得られ、県内で活動する団体・女性人材のネットワークづくりの促進と、活躍する女性の「見える化」ができた。次年度は、今回企画・運営に参画してもらった主要団体等を中心とした実行委員会を立ち上げ、フェスタを通じたさらなるネットワークの強化・拡大及び活躍する女性の「見える化」に取り組む。</p>
目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>【目標】:ミドルマネジメント講座受講者数(年間)(アウトプット)90人【実績】:90人 目標の受講者数に達したうえ、4年目の開催となった長崎地区においては、定員の30人に対して40人を超える申し込みがあった。過去の受講企業が別の女性社員を参加させるなど、当講座の必要性・有効性が浸透しつつあり、他の地域においてもこれまで以上に周知に努めるとともに、県下全域において女性登用促進のための人材育成を継続することが重要である。</p> <p>【目標】:イクボスセミナー受講者数(アウトプット)30人【実績】:51人 長崎大学ダイバーシティ推進センターとの連携により、目標の受講者数を超える申し込みがあり、企業、大学など幅広い事業所からの参加を得た。受講者による「イクボス宣言」を行うことで、イクボスとして主体的にワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む意欲の向上を図ることが出来た。実行を伴う管理職の意識改革のためには、県下全域において継続的にイクボスの養成に取り組み、機運の醸成を図ることが重要である。</p> <p>【目標】:啓発動画コンテンツの制作数(本)(累計)(アウトプット)2本【実績】:2本 イクボス普及のための啓発動画を短編、長編の2本を制作し、目標を達成した。なお、短編はマスコミ等にて取り上げやすく、かつ視聴者の印象に残るよう内容・視聴時間を調整し、長編は企業や団体等のセミナー内で実践的に活用いただくことを想定しており、自己診断ツールとセットで実践することでイクボスについての理解促進を図る。</p> <p>【目標】:フェスタの企画・運営に参画した女性人材数(アウトプット)120人【実績】:193人 H30～R1累計 県内で活動する団体や、女性起業家等にフェスタへの参画を呼びかけ、多くの女性人材に参画してもらうことができ、目標を達成した。</p>
今後の課題	<p>ミドルマネジメント講座について、中小企業等においては長期にわたる研修への職員派遣が困難な状況があるため、日程や開催場所等を見直すとともに、当講座の必要性・有効性の周知に受講者派遣元事業所から協力を得るなど、より効果的な事業運営が必要である。</p> <p>イクボス推進事業について、県内事業所の経営者・管理職層においては、女性活躍推進に自らが主体的に取り組む必要性についての理解浸透がまだ不十分であるため、「イクボス」の必要性についての理解を県下全域に浸透させるため、県内自治体とさらに連携を図り、効果的な事業運営が必要である。</p> <p>家庭と社会生活の両立促進事業について、職場の理解促進(イクボスの推進)や男性の家事や育児等への参画に向けた全県下の機運の醸成は十分とは言えないため、県内自治体や関係団体等とさらに連携を図り、県民及び経営者・管理職等への広報・普及啓発を一体的に行う必要がある。</p> <p>男女共同参画・女性活躍フェスタ(つながるフェスタin県庁)については、今回参加してもらった団体・女性人材等とのつながりを継続・強化するとともに、新たに参画する団体・女性人材を増やし、さらなるネットワークの拡大を図っていく必要がある。</p> <p>また、フェスタの企画・運営にあたっては、参画団体・女性人材等からのアイデアを反映し、より県民に対して訴求力のあるイベント内容を検討していく必要がある。</p>